

「東日本大震災」被災地復興支援  
 高松宮記念杯 第45回全日本実業団バスケットボール選手権大会  
 大会期間:平成25年2月9日~2月12日 会場: いしかわ総合センター

2月12日(火)大会4日目(最終日)試合結果

**女子 決勝**

コートブロック

E	F3	秋田銀行 (東北1)	○	65	$\left[ \begin{array}{ccc} 17 & 1P & 10 \\ 11 & 2P & 11 \\ 16 & 3P & 16 \\ 21 & 4P & 12 \end{array} \right]$	49	●	山形銀行 (東北2)	主審 中江 洋美 副審 池松 和久 副審 尾形 美樹
---	----	---------------	---	----	--	----	---	---------------	----------------------------------

**男子 準決勝**

コートブロック

E	M5	九州電力 (九州1)	○	84	$\left[ \begin{array}{ccc} 21 & 1P & 20 \\ 21 & 2P & 21 \\ 21 & 3P & 21 \\ 21 & 4P & 19 \end{array} \right]$	81	●	新生紙パルプ商事 (関東4)	主審 阿部 聖 副審 小川 裕之 副審 青木 俊博
F	M6	曙ブレーキ工業 (関東5)	○	79	$\left[ \begin{array}{ccc} 16 & 1P & 19 \\ 17 & 2P & 17 \\ 28 & 3P & 6 \\ 18 & 4P & 17 \end{array} \right]$	59	●	日本無線 (関東6)	主審 北沢 岳夫 副審 岩田 友幸 副審 山崎 真吾

**男子 決勝**

コートブロック

E	M7	九州電力 (九州1)	○	61	$\left[ \begin{array}{ccc} 17 & 1P & 19 \\ 11 & 2P & 11 \\ 19 & 3P & 13 \\ 14 & 4P & 11 \end{array} \right]$	54	●	曙ブレーキ工業 (関東5)	主審 安力川 剛士 副審 黒岡 和哲 副審 井元 誠
---	----	---------------	---	----	--	----	---	------------------	----------------------------------

**■ 最終結果 ■**

**男子**

●順位

優勝	九州電力 (九州1) (3年連続4回目)
準優勝	曙ブレーキ工業
3位	新生紙パルプ商事
3位	日本無線

●個人賞

最優秀選手賞	九州電力#45根岸豪 (2年ぶり2回目)
敢闘賞	曙ブレーキ工業#9熊吉 (初)

**女子**

●順位

優勝	秋田銀行 (東北1) (5年ぶり7回目)
準優勝	山形銀行
3位	三井住友銀行
3位	鶴屋百貨店

●個人賞

最優秀選手賞	秋田銀行#13伊藤美和子 (初)
敢闘賞	山形銀行#10阿部愛美 (初)

# 「東日本大震災」被災地復興支援

## 高松宮記念杯 第45回全日本実業団バスケットボール選手権大会 (金沢大会)

期間：2013 (H25) . 2. 9~2. 12 会場：かなざわ総合スポーツセンター

### 男子

Aブロック	九州	三菱	NTT東	阪神	勝	敗	勝点	順位	A
九州電力 (九州1)	○	○	○	○	3	0	6	1	九州電力
三菱自動車 (東海2)	●	○	○	○	0	3	3	4	
NTT東日本東京 (関東10)	●	○	○	○	2	1	5	2	
阪神百貨店 (近畿6)	●	○	○	○	1	2	4	3	

Hブロック	富士通	タツタ	四国	西野	勝	敗	勝点	順位	H
富士通 (関東7)	○	○	○	○	3	0	6	1	富士通
タツタ電線 (近畿1)	●	○	○	○	2	1	5	2	
四国電力 (四国1)	●	○	○	○	1	2	4	3	
西野製作所 (北陸2)	●	○	○	○	0	3	3	4	

Eブロック	新生	ホシザキ	信和	メディ	勝	敗	勝点	順位	E
新生紙パルプ商事 (関東4)	○	○	○	○	3	0	6	1	新生紙パルプ商事
ホシザキ (東海1)	●	○	○	○	2	1	5	2	
信和建設 (近畿3)	●	○	○	○	0	3	3	4	
メディセオ (関東11)	●	○	○	○	1	2	4	3	

Dブロック	葵	プレス	NTT西	小糸	勝	敗	勝点	順位	D
葵企業 (関東3)	○	○	○	○	3	0	6	1	葵企業
プレス工業 (関東9)	●	○	○	○	2	1	5	2	
NTT西日本大阪 (近畿5)	●	○	○	○	0	3	3	4	
小糸製作所 (東海5)	●	○	○	○	1	2	4	3	

Cブロック	三井	JR	日立	浪速	勝	敗	勝点	順位	C
JR東日本秋田 (東北)	○	○	○	○	3	0	6	1	JR東日本秋田
三井住友銀行 (関東2)	●	○	○	○	2	1	5	2	
日立笠戸 (中国2)	●	○	○	○	0	3	3	4	
浪速酸素 (近畿7)	●	○	○	○	1	2	4	3	

Fブロック	曙	黒田	豊田	北陸	勝	敗	勝点	順位	F
曙ブレーキ工業 (関東5)	○	○	○	○	3	0	6	1	曙ブレーキ工業
黒田電気 (近畿2)	●	○	○	○	2	1	5	2	
豊田自動織機 (東海3)	●	○	○	○	1	2	4	3	
北陸電力石川 (北陸1)	●	○	○	○	0	3	3	4	

Gブロック	無線	海上	三菱	重工	勝	敗	勝点	順位	G
日本無線 (関東6)	○	○	○	○	3	0	6	1	日本無線
三井住友海上 (関東8)	●	○	○	○	2	1	5	2	
三菱電機三田 (近畿4)	●	○	○	○	1	2	4	3	
三菱重工長崎 (九州2)	●	○	○	○	0	3	3	4	

Bブロック	横河	ナカシマ	宮田	イカイ	勝	敗	勝点	順位	B
横河電機 (関東1)	○	○	○	○	3	0	6	1	横河電機
ナカシマプロペラ (中国1)	●	○	○	○	0	3	0	4	
宮田自動車 (北海道)	●	○	○	○	1	2	4	3	
イカイレッドチンプス (東海4)	●	○	○	○	2	1	5	2	

優勝  
(3年連続4回目)  
九州電力

準優勝  
曙ブレーキ工業

準優勝  
日本無線

3位 新生紙パルプ商事  
3位 日本無線

最優秀選手賞 九州電力#45根岸豪  
敢闘賞 曙ブレーキ工業#9熊吉

### 女子

Wブロック	秋田	滋賀	日立	特別	勝	敗	勝点	順位	W
秋田銀行 (東北1)	○	○	○	○	3	0	6	1	秋田銀行
滋賀銀行 (近畿2)	●	○	○	○	2	1	5	2	
日立笠戸 (中国)	●	○	○	○	1	2	4	3	
特別区 (関東6)	●	○	○	○	0	3	3	4	

Zブロック	紀陽	三井	イカイ	丸紅	勝	敗	勝点	順位	Z
紀陽銀行 (近畿1)	○	○	○	○	3	0	6	1	三井住友銀行
三井住友銀行 (関東3)	●	○	○	○	2	1	5	2	
イカイ (東海)	●	○	○	○	0	3	3	4	
丸紅 (関東5)	●	○	○	○	1	2	4	3	

Yブロック	山形	東京	TOTO	OTC	勝	敗	勝点	順位	Y
山形銀行 (東北2)	○	○	○	○	3	0	6	1	山形銀行
東京海上日動 (関東1)	●	○	○	○	2	1	5	2	
TOTO (関東4)	●	○	○	○	1	2	4	3	
OTCくきや (近畿3)	●	○	○	○	0	3	3	4	

Xブロック	鶴屋	メディセオ	今治	第一	勝	敗	勝点	順位	X
鶴屋百貨店 (九州)	○	○	○	○	3	0	6	1	鶴屋百貨店
メディセオ (関東2)	●	○	○	○	2	1	5	2	
今治オレンジプロッサム (四国)	●	○	○	○	0	3	3	4	
第一生命 (近畿4)	●	○	○	○	1	2	4	3	

優勝  
(5年ぶり7回目)  
秋田銀行

準優勝  
山形銀行

3位 三井住友銀行

3位 鶴屋百貨店

最優秀選手賞 秋田銀行#13伊藤美和子

敢闘賞 山形銀行#10阿部愛美





# 大会名称: 高松宮記念杯 第45回全日本実業団バスケットボール選手権大会

開催場所: いしかわ総合スポーツセンター Eコート

試合区分: No. 18 男子 決勝

期 日: 2013(H25)年2月12日(火)

主審: 安力川 剛士

開始時間: 13:30

副審: 黒岡 和哲, 井元 誠

<h2 style="margin: 0;">九州電力</h2> <p style="margin: 0;">(九州1)</p>	<span style="font-size: 2em;">○</span> <span style="font-size: 2em;">61</span>	17 — 19	<span style="font-size: 2em;">●</span> <span style="font-size: 2em;">54</span>	<h2 style="margin: 0;">曙ブレーキ工業</h2> <p style="margin: 0;">(関東5)</p>
		11 — 11		
		19 — 13		
		14 — 11		
		—		

3連覇を狙う九州電力と関東実業団5位の曙ブレーキ工業との対戦となった男子決勝。

第1ピリオド曙ブレーキ工業は#17田村と#9熊のインサイドで得点を重ねる。対する九州電力は、激しいディフェンスから持ち前の速攻で得点し、決勝戦らしい一進一退のゲーム展開。

第2ピリオドに入り、両チームとも決定力を欠き、なかなか得点が伸びず28-30のロースコアで曙ブレーキ工業が2点リードで前半が終了する。

巻き返しを図りたい九州電力は、第3ピリオド開始早々逆転に成功。

曙ブレーキ工業も#9熊のインサイドや#32藤原の3Pで対抗し、47-43で九州電力が4点差で3ピリオドを終了。

第4ピリオドは、足の止まった曙ブレーキ工業に対し、九州電力は速攻でジリジリと突き放しにかかるが、曙ブレーキ工業も#9熊や#32藤原の3Pで必死に食い下がり、残り2分を切って4点差とするも、最後まで冷静に試合を進めた九州電力が61-54で3連覇を達成した。

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。

曙ブレーキ工業は、#9熊のインサイドと#17田村のシュートで得点を重ねる。

一方の九州電力は、激しいディフェンスからの速攻で得点し、両チーム一進一退の展開となり、曙ブレーキ工業が2点リードで第1ピリオドを終了。

第2ピリオド、引き続きマンツーマンでスタートするが、両チームとも決定力を欠き、なかなかシュートが決まらない。

ロースコアの展開となり28-30で曙ブレーキ工業が2点リードで前半終了

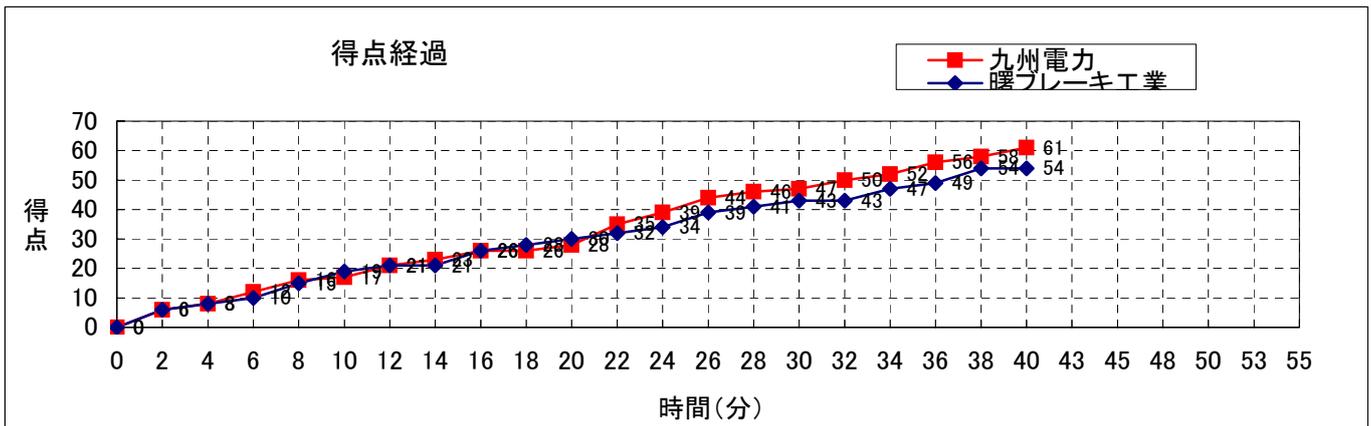
第3ピリオド、九州電力は#8岡や#35熊谷の3Pで突き放しにかかるが、曙ブレーキ工業は#9熊のインサイドなどで点差が広がらないよう粘る。その後、九州電力は相手のミスから#8岡の速攻や#45根岸のバスケットカウントで得点し、流れは九州電力かと思われたが、曙ブレーキ工業の#32藤原の3Pや#34金城のゴール下で応戦し、一進一退の展開が続き、47-43と九州電力が4点リードで第3ピリオド終了。

第4ピリオド、開始直後、九州電力#45根岸のバスケットカウントからペースは九州電力に傾きかけたが、相変わらず曙ブレーキ工業#9熊のリバウンドシュートや#17田村のドライブ等で得点し、逆に曙ブレーキ工業のペースになりかけた残り5分6秒に九州電力がタイムアウトを取って、流れを止める。その直後から九州電力は#45根岸が連続で相手のファウルを誘い、フリースローで得点を重ねる。一方、曙ブレーキ工業は#32藤原の3P等で必死に食下がる。残り33秒、得点58-54で4点ビハインドの曙ブレーキ工業がタイムアウト。

その後、#17田村が早めの3Pを狙うが、リングに嫌われ得点出来ず、九州電力が曙ブレーキ工業を下し三連覇を果たした。

担当者: 新出 光昭, 鶴見 智厚 (北陸実業団連盟)

一般社団法人日本実業団バスケットボール連盟



大会名称: **高松宮記念杯 第45回全日本実業団バスケットボール選手権大会**

開催場所: **いしかわ総合スポーツセンター Eコート**

試合区分: **No. 17 女子 決勝**

期 日: **2013(H25)年2月12日(火)**

主審: **中江 洋美**

開始時間: **11:40**

副審: **池松 和久, 尾形 美樹**

<b>秋田銀行</b> (東北1)	○ <b>65</b>	17	—	10	● <b>49</b>	<b>山形銀行</b> (東北2)
		11	—	11		
		16	—	16		
		21	—	12		
		—	—	—		

女子決勝は、秋田銀行と山形銀行の東北同士の戦いとなった。

第1ピリオド試合開始早々、秋田銀行は#10加藤の3点シュートで先行すると、山形銀行も#9佐藤のミドルシュートで対抗。両チームともにスムーズな立ち上がりとなった。その後、一進一退の攻防が続く。秋田銀行は#13伊藤のミドルシュートがよく決まり、15-8とリードする。山形銀行はディフェンスをマンツーマンに替え、流れをつかもうとするが、結局17-10と秋田銀行のリードで第1ピリオドは終了。

第2ピリオド山形はディフェンスをマンツーマンに戻すと、徐々にペース戻し始める。山形銀行#9佐藤の3点、#10の阿部の2点で19-15の4点差まで詰め寄せると、秋田銀行は選手の入替でリズムを変えようとする。残り4分38秒、秋田銀行のタイムアウト。変化を見せたのは山形銀行。ゾーンプレスを変えたディフェンスで相手のミスを誘うが、秋田銀行#13伊藤のシュートがよく決まり、残り3分で26-19と秋田銀行がリードを広げる。山形銀行は秋田銀行のマッチアップゾーンを攻略出来ず、中々得点が伸びない。結局28-21で第2ピリオド終了。

第3ピリオド、出だし、山形銀行は#12安井の3点シュートが決まり、勢いにのりたいたいところだが、秋田銀行#13伊藤のシュートが止まらない。開始3分には35-24と秋田銀行が11点のリードを見せる。残り5分46秒、流れを変えたい山形銀行がタイムアウト。するとすぐさま山形銀行#10阿部のバスケットカウントが決まる。山形銀行は一気に追いつきたいところだが、秋田銀行#5横山のミドルシュートが決まり、10点差の均衡が続く。残り3分、秋田銀行#13伊藤の3点シュートが決まり、42-30と秋田銀行のリードが広がるが、山形銀行#11青山のシュートも決まり、44-37と食い下がる。

第4ピリオド、最初に得点を決めたのは秋田銀行。#12成田の3点シュートが決まり、47-37と再び10点差に広げる。残り7分39秒、秋田銀行#13伊藤のシュートが決まり、49-37になったところで、山形銀行のタイムアウト。残り6分、山形銀行は#10阿部の連続3点シュートと、さらには秋田銀行のターンオーバーも誘い、52-47と5点差まで詰め寄せ。秋田銀行はたまたまタイムアウト。残り3分30秒、両チーム苦しいところで秋田銀行#13伊藤の3点シュートが決まり、57-47と秋田銀行のリード。山形銀行は、後半3回目のタイムアウトを取り逆転に望みをかけるが、最後までペースをつかむことができず、結局65-49で秋田銀行が5年ぶり7回目の優勝を飾った。

担当者: 中江 祐萁(北陸実業団連盟)

一般社団法人日本実業団バスケットボール連盟

